

研究会「長期予報と大気大循環」のご案内

「長期予報研究連絡会」では下記の予定で研究会「長期予報と大気大循環」を開催します。

今年のテーマは、「海洋変動がもたらす大気大循環と日本の天候への影響」としました。2020年夏からラニーニャ現象の傾向が続いています。エルニーニョ／ラニーニャ現象が日本や世界の天候に影響を与えることはよく知られていますが、こうした海洋変動が、数年にわたって継続して発生する状況とその要因、日本の天候に及ぼす影響について注目します。

そこで今回の会合では、長引くラニーニャ現象とその影響を中心に、地球温暖化や十年規模変動との関係、熱帯や中緯度帯の大気海洋相互作用とその予測可能性も含めた幅広い観点から、議論を深めてまいります。

研究会の詳細および講演、参加の申し込みについては下記のとおりです。多数のご参加をお待ちしております。

記

主催：長期予報研究連絡会（代表 中村 尚）

日時：2023年1月17日（火）13時30分～17時30分

場所：Web会議（接続に関する詳細は、参加者に後日連絡いたします）

講演について：

- ・テーマ：海洋変動がもたらす大気大循環と日本の天候への影響
- ・講演時間：1講演あたり25分程度（予定）
- ・申込締切：2022年12月16日（金）
- ・概要締切：2023年1月10日（火）
- ・講演要旨：連絡会終了後、4ページ程度の要旨を提出していただきます

参加について：

- ・参加申込締切：2023年1月10日（火）

申込について：

- ・電子メールの宛先：extreme@met.kishou.go.jp
- ・講演または参加のどちらを希望するか明記してください
- ・講演申込の場合は、題目も記載してください
- ・Web会議への接続が難しい方はご相談ください

連絡先：事務局（気象庁気候情報課 萱場互起、中村 哲，岩平朋也）